

個人投資家向け情報提供

1. 評価対象企業（29 社）

大和ハウス工業、アサヒグループホールディングス、キリンホールディングス、不二製油グループ本社（新規）、住友化学、三井化学、野村総合研究所、第一三共（新規）、オリエンタルランド（新規）、伊藤忠テクノソリューションズ（新規）、JXTGホールディングス、住友金属鉱山、古河電気工業（再対象）、リクルートホールディングス（新規）、日本電産、オムロン、ソニー、SUBARU、豊田合成（新規）、ファミリーマート（再対象）、三井物産、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループ、東京海上ホールディングス、日本航空、ANAホールディングス、日本電信電話、中部電力（新規）、東京瓦斯

（証券コード協議会銘柄コード順）

2. 評価方法等

(1) 評価対象企業の選定

- ① 優良企業選定の評価対象企業は、本年度のディスクロージャー優良企業選定対象である各業種（17 業種）および新興市場銘柄についての選定結果において、各業種等の上位 1 割（評価対象企業の数で 10 で割った数（小数点第 1 位を切上げ））のうち、2018 年 7 月から 2019 年 6 月までの間において、「個人投資家向け会社説明会」を開催した 29 社とした。
- ② 本年度の評価対象企業の内訳は、前回に引き続き対象となった企業 20 社、前々回以前に対象となり本年度再び対象となった企業（再対象企業）2 社、新規企業 7 社となっている。

(2) 評価分野の構成

評価分野	本文中の略称	評価項目(注 1)数	配点
①個人投資家向け会社説明会の開催等	個人投資家向け会社説明会	4	21
②ウェブサイトにおける開示等	ウェブサイト	9	61
③事業報告書等（注 2）の内容	事業報告書等	3	18
計		16	100

（注 1）評価項目の内容および配点は 151 頁参照。

（注 2）直近事業年度について、株主や個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について分かりやすい解説を行っている IR 関連資料（事業報告書、アニュアルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提供のあったいずれか 1 種類。

(3) 評価方法

評価項目（16 項目）のうち、個人投資家向け会社説明会の開催の有無等 5 項目についての評価は、各評価対象企業にアンケート調査を実施し、その回答結果を基に評点を付した。残りの 11 項目の評価は、ディスクロージャー研究会「個人投資家向け情報提供専門部会」の委員（15 名）が行い、最終評価は両者の評点を合算して行った。

3. 評価結果

(1) 総括（個人投資家向け情報提供における評価比較総括表（150 頁）参照）

本年度の評価対象企業には、新規企業、再対象企業または対象外となった企業もある。このため、昨年度と

同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は 75.4 点で、評価点 80 点台が 12 社（昨年度 11 社）、70 点台が 11 社（昨年度 8 社）、60 点台が 2 社（昨年度 5 社）、60 点未満が 4 社（昨年度 4 社）となった。

3 つの評価分野の平均得点率（評価対象企業の平均点／配点〈以下省略〉）を見ると、**個人投資家向け会社説明会**が 69%（昨年度 65%）、**ウェブサイト**が 77%（昨年度同率）、**事業報告書等**が 78%（昨年度 76%）となり、**個人投資家向け会社説明会**および**事業報告書等**が昨年度を上回った。

(2) 評価対象企業に対するアンケート結果を基にした評価

- ① 評価対象企業へのアンケート結果を基に評価した 5 項目について見ると、**個人投資家向け会社説明会**に関しては、昨年 7 月から本年 6 月までの 1 年間の平均開催回数は、9.0 回（昨年度 9.2 回）、経営トップが説明を行っている企業は、対象企業 29 社中 13 社（45%）で、その割合は昨年度（54%）を下回った。
- ② 個人投資家向け会社説明会の内容をウェブサイトに掲載している企業は 22 社（76%）で、昨年度（20 社（71%））を上回った。22 社の内、配布資料に加え動画または音声配信により視聴できる企業は 18 社（82%）で、昨年度（14 社（70%））を上回った。
- ③ ウェブサイトに関しては、独立した個人投資家向けサイトを設けている企業は 27 社（93%）で、昨年度と同水準となった。
- ④ 「各種説明会（個人投資家向け説明会を除く）の内容が、ウェブサイトに掲載されて誰でも閲覧できること」については、全社が対応できている。対応状況として、動画掲載が 23 社（79%）〔昨年度 19 社（68%）〕、音声配信が 3 社（10%）〔昨年度 5 社（18%）〕、資料のみ掲載が 3 社（10%）〔昨年度 4 社（14%）〕となっており、昨年度に比べ、動画掲載の割合が上回った。

(3) 専門部会委員による評価

専門部会委員は、ウェブサイト等における開示内容が一般投資家に理解できるように具体的に分かりやすく説明・記載されているか、また、利用しやすいように工夫がされているかといった観点から、11 項目について評価を実施した。その結果、11 項目中 6 項目（(a), (d), (e) i, (e) ii, (g), (h)）において平均得点率が昨年度を上回り、5 項目（(b), (c), (e) iii, (f), (i)）が下回った。

【個人投資家向け会社説明会】

- (a) 「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、分かりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか」（平均得点率 60%〔昨年度 56%〕）（参考）個人投資家向け会社説明会の内容がウェブサイトに掲載されている企業（22 社）のみの平均得点率 79%〔昨年度 78%〕

【ウェブサイト】

- (b) 「IR に関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ分かりやすく工夫されていますか」（平均得点率 82%〔昨年度 84%〕）
- (c) 「個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていますか。また、IR 情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか」（平均得点率 70%〔昨年度 73%〕）（参考）上記（(2)③）の独立した個人投資家向けサイトを設けている企業（27 社）の平均得点率 76%〔昨年度 78%〕
- (d) 「事業内容（主力商品、主力サービス等）や業界動向が具体的に分かりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 79%〔昨年度 78%〕）
- (e) 「ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料（個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む）について」
- i 「業績の動きが、具体的に分かりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 80%〔昨年度 78%〕）
 - ii 「業界動向が、分かりやすくまとめた資料を掲載するなど、具体的に分かりやすく（一般投資家に理

解できるように)説明されていますか」(平均得点率 69%〔昨年度 67%〕)

- iii 「経営目標・経営戦略が、会社の強み(業界シェアや他社との差別化等含む)や課題等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか」(平均得点率 76%〔昨年度 77%〕)

- (f) 「ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答(FAQ)は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、分かりやすいですか」(平均得点率 68%〔昨年度 70%〕)

【事業報告書等】

- (g) 「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか」(平均得点率 80%〔昨年度 77%〕)
- (h) 「経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていますか」(平均得点率 78%〔昨年度 75%〕)
- (i) 「業績の動きが分かりやすく(読み手が理解しやすいように)説明されていますか」(平均得点率 76%〔昨年度 77%〕)

(4) 上位3企業の評価概要

第1位 三菱UFJフィナンシャル・グループ(ディスクロージャー優良企業〔4回目〕、総合評価点 88.6点〔昨年度比+2.3点〕)

- ① 同社は、個人投資家向け会社説明会が第7位(得点率(以下省略)91%)、ウェブサイトが同得点第1位(87%)、事業報告書等(「MUFG Report 2019」)が第1位(90%)となった。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、「説明会の内容が、分かりやすく、かつ充実していること」が第9位(82%)となった。例えば、2019年3月に開催された説明会の動画およびプレゼンテーション資料によると、同社の取締役代表執行役社長グループCEOが「MUFGの経営戦略」と題し、同社の現状・強み、中期経営計画、海外戦略、株主還元、ESG課題への取り組み等について説明を行った。目次が便利で、自社の強み、事業環境、戦略などが図表を含め、分かりやすく説明されているとの声がある一方、やや複雑な感じがするとの声も寄せられた。
- ③ ウェブサイトにおいては、「IRに関するウェブサイトが、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ分かりやすく工夫されていること」が最も高い評価となったほか、「個人投資家向けサイトが探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていること、また、IR情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること」が高く評価された。加えて、ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料において、「業績の動きが具体的に分かりやすく説明されていること」が最も高い評価となったほか、「業界動向が、分かりやすくまとめた資料を掲載するなど、具体的に分かりやすく説明されていること」および「経営目標・経営戦略が、会社の強み(業界シェアや他社との差別化等を含む)や課題等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく説明されていること」が共に評価された。さらに、「ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答(FAQ)が、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、分かりやすいこと」が最も高い評価となった。これらの結果、この分野において同得点第1位の評価となった。個人投資家が知りたい情報を探しやすいように工夫している、業績の推移については具体的に説明しているとの声がある一方、業界動向について説明の充実を望む声も寄せられた。
- ④ 事業報告書等においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」、「経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていること」および「業績の動きが分かりやすく説明されていること」が共に単独または同得点第1位となった。これらの結果、この分野において第1位の評価となった。マネジメントメッセージに始まり、各事業本部の責任者の発言を写真入りで掲載するなど、詳細に記載されている、ESGに関するKPIや注目度の高いデジタル領域の取組を紹介している、長期の業績動向やグローバル競合他社との比較など、情報が豊富にあるとの声が寄せられた。

第2位 日本電産（ディスクロージャー優良企業〔2回連続12回目〕、総合評価点 87.2 点〔昨年度比－2.1 点〕）

- ① 同社は、個人投資家向け会社説明会が第3位（94%）、ウェブサイトが同得点第1位（87%）、事業報告書等（「株主通信第46期」）が同得点第17位（79%）となった。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、「説明会の内容が、分かりやすく、かつ充実していること」が第4位（87%）となった。例えば、2018年12月に開催された説明会のプレゼンテーション資料によると、同社の代表取締役会長が「夢をかたちにする経営」と題し、同社の成長の軌跡、株式時価総額や業績の推移、技術革新の大潮が到来していること（クルマの電動化・ロボティクス・省エネ家電・ドローン等）や中期戦略目標（Vision 2020）の数値目標等について説明を行った。目標や根拠となるデータを示しており（例えば、「車載モータの受注残高「倍増」」、「小型ロボット用減速機の生産能力「40倍」」といった記載）、説得力があり、個人投資家に伝わりやすいとの声が寄せられた。
- ③ ウェブサイトにおいては、「IRに関するウェブサイトが、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ分かりやすく工夫されていること」が高く評価されたほか、「個人投資家向けサイトが、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていること、また、IR情報のメール配信サービス機能を提供していること」が高い評価となった。加えて、「事業内容や業界動向が具体的に分かりやすく説明されていること」も最も高い評価となった。さらに、ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料において、「業績の動きが、具体的に分かりやすく説明されていること」、「業界動向が、分かりやすくまとめた資料を掲載するなど、具体的に分かりやすく説明されていること」および「経営目標・経営戦略が、会社の強みや課題等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく説明されていること」が共に評価された。これらの結果、この分野において同得点第1位の評価となった。投資家になじみの薄い商品を製造しているにもかかわらず、「モータ」というコンセプトを全面に出すことで、事業内容をうまく伝えている、車載向けやロボット、農業・物流の省人化など、成長領域を分かりやすく解説している、主力市場の世界市場規模などがグラフ化され有意義であると評価する声が寄せられた。
- ④ 事業報告書等においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」が評価されたことに加え、「業績の動きが分かりやすく説明されていること」も評価された。写真やグラフで見やすい、成長ストーリーが描かれている、投資家の興味を引き、業績を連想させる内容の特集記事が秀逸であるとの声がある一方、中長期のビジョンの説明を望む声や、他社と比べ情報量が限定的との声も寄せられた。

第3位 三井物産（ディスクロージャー優良企業〔2回連続2回目〕、総合評価点 86.1 点〔昨年度比－1.1 点〕）

- ① 同社は、個人投資家向け会社説明会が同得点第9位（90%）、ウェブサイトが同得点第3位（86%）、事業報告書等（「統合報告書2019」）が第6位（83%）となった。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、「説明会の内容が、分かりやすく、かつ充実していること」が同得点第13位（79%）となった。例えば、2018年12月に開催された説明会の動画およびプレゼンテーション資料によると、同社の代表取締役社長が、会社概要とビジネスモデル、中期経営計画と成長戦略、業績、株主還元方針について説明した。その補足資料に、重点施策（強固な収益基盤づくりと既存事業の徹底強化、新たな成長分野の確立、キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化、ガバナンス・人材・イノベーション機能の強化）等がまとめられていた。動画に併せて説明骨子が掲載されているなど、投資家向け情報が充実しているとの声がある一方、各セグメントの売上構成比を最初のあたりに示すと理解しやすいとの声も寄せられた。
- ③ ウェブサイトにおいては、「IRに関するウェブサイトが、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ分かりやすく工夫されていること」が高く評価されたほか、「個人投資家向けサイトが探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていること、また、IR情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること」も高い評価となった。加えて、「事業内容や業界動向が具体的に分かりやすく説明されていること」も評価されたほか、ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料において、「業績の動きが、具体的に分かりやすく説明されていること」および「経営目標・経営戦略が、会社の強みや課題等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく説明されていること」が共に評価された。さらに、「ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答（FAQ）が、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等、全体的に充実し、分かりやすいこと」も高く評価された。セグメント毎の利益変動要因が分かりやすい、営業キャッシュ・フローと商品価格の推移のグラフが見やすい、経営方針、ビジョン、

ミッションなどが繰り返しアピールされておりメッセージが伝わる、中期経営計画の数値目標や重点施策を分かりやすく簡潔にまとめているとの声がある一方、多岐にわたる事業領域や業界動向の説明の充実を望む声が寄せられた。

- ④ **事業報告書等**においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」が評価された。また、「経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていること」も高く評価された。写真、グラフ、イメージなどにより分かりやすい、中期経営計画と関連する項目を有機的に紐づけしており興味深い、CFO メッセージで業績を説明しているほか、株主還元の原資となるキャッシュ・フローの改善を分かりやすく解説しているとの声が寄せられた。

上記の**三菱UFJフィナンシャル・グループ**、**日本電産**、**三井物産**の3社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、これら3社を本年度の個人投資家向け情報提供における優良企業として選定した。

以 上

2019年度 個人投資家向け情報提供における評価比較総括表

(単位:点)

順位	評価項目 評価対象企業	総合評価 (100点)	1. 個人投資家向け会社説明会 の開催等		2. ウェブサイトにおける 開示等		3. 事業報告書等の内容	
			(配点 21点)		(配点 61点)		(配点 18点)	
			評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	88.6	19.2	7	53.2	1	16.2	1
2	6594 日本電産	87.2	19.7	3	53.2	1	14.3	17
3	8031 三井物産	86.1	18.9	9	52.2	3	15.0	6
	評価対象企業(29社) 評価平均点	75.44	14.48		46.94		14.02	

経営方針、中・長期経営ビジョン
や業績動向の説明の分かりやす
さ等3項目

個人投資家向けサイトの有無
や、事業内容、各種説明会資
料の分かりやすさ等9項目

開催回数、社長等代表役員
の説明の有無等4項目

2019年度評価項目および配点一覧(個人投資家向け情報提供)

(網掛けの項目は対象企業へのアンケート結果を基に評点、その他の項目は「個人投資家向け情報提供専門部会」の委員が評点。)

1. 個人投資家向け会社説明会の開催等 (21点)	配点
(1)過去1年間(前年7月から本年6月までの間)に個人投資家向け会社説明会を何回開催していますか。 [A.2回以上:2点、B.1回:1点]	2
(2)個人投資家向け会社説明会は、経営トップが説明を行いましたか。 [A.経営トップが行った:3点、B.経営トップ以外が行った:2点]	3
(3)個人投資家向け会社説明会の内容は、ウェブサイトに掲載されて誰でも閲覧できますか。 [A.配布資料に加え動画または音声で視聴できる:6点、B.配布資料の掲載のみ:3点、C.掲載なし:0点]	6
(4)ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、分かりやすく(一般投資家に理解できるように)、かつ充実していますか。【個人投資家向け会社説明会に限定して評価】 [1点~10点の整数で評価。掲載なし:0点]	10
2. ウェブサイトにおける開示等 (61点)	配点
(1)IRに関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ分かりやすく工夫されていますか。 [1点~4点の整数で評価]	4
(2)個人投資家向けサイト(個人投資家の皆様へ等の独立したサイト)が設けられていますか。 [A.あり:1点、B.なし:0点]	1
(3)個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていますか。また、IR情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか。 [1点~6点の整数で評価。個人投資家向けサイトがない場合:0点]	6
(4)事業内容(主力商品、主力サービス等)や業界動向が具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点~10点の整数で評価]	10
(5)ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料(個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む)について	
A 業績の動きが、具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点~10点の整数で評価]	10
B 業界動向が、分かりやすくまとめた資料を掲載するなど、具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点~10点の整数で評価]	10
C 経営目標・経営戦略が、会社の強み(業界シェアや他社との差別化等を含む)や課題等を踏まえて、具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点~10点の整数で評価]	10
(6)各種説明会(個人投資家向け会社説明会を除く)の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも閲覧できますか。 [A.動画または音声で視聴できる:5点、B.資料のみ掲載:2点、C.掲載なし:0点]	5
(7)ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答(FAQ)は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、分かりやすいですか。 [1点~5点の整数で評価。FAQの掲載がない場合:0点]	5
3. 事業報告書等の内容 (注) (18点)	配点
(1)全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか。 [1点~6点の整数で評価]	6
(2)経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。 [1点~6点の整数で評価]	6
(3)業績の動きが分かりやすく(読み手が理解しやすいように)説明されていますか。 [1点~6点の整数で評価]	6

(注) 直近事業年度の事業報告書(または報告書)、株主通信(または株主の皆様へ)など株主や個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、分かりやすい解説を行っているIR関連資料(アニュアルレポート、統合報告書、ESG情報等を含む)として作成しているもので、会社側から提供のあったいずれか一種類を評価対象とする。

個人投資家向け情報提供専門部会委員

部 会 長
部会長代理

西澤 隆	野村證券
河合 信夫	みずほ証券
井場 浩之	SMBC 日興証券
岩崎 利昭	水戸証券
宇田川 克己	いちよし証券
大坂 隼矢	野村證券
大塚 俊一	いちよし証券
大西 耕平	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
金森 睦美	大和証券
小浦 みなみ	大和証券
小松崎 直樹	丸三証券
西田 美紀彦	みずほ証券
二宮 雅之	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
堀内 敏一	岩井コスモ証券
山本 信一	岡三証券